

教育目標「進んではげむ、心ゆたかな生徒」

令和6年2月6日 第18号

2 0254-22-3824

1 0254-26-3543

自分の人生のコーディネーターは自分自身

校長 森谷 優子

様々なところで言っていることですが、「中学校時代は、『自分はいったい何者なのか』を問い続け、答えを探し始める時期」だと考えています。以下は、今年19歳になる生徒が、中3の頃、卒業を前に書いた文章です。



小学校の頃の私は、人の話もろくに 聞かない悪ガキでした。しかし、中学 校に入学して、大きく環境が変わりま した。中学校でいい仲間、いい先輩、 いい先生に会って、夢や目標ができま した。私が思うに、中学校というの は、夢や目標に向かってがんばるとこ ろです。まだ夢や目標がない人は、そ れを見つけようと努力するところだと 思います。そうやって成長する場所、 それが中学校です。

私が中学校生活で得たものは、部活動を通して得た3つの「出会い」です。1つ目は「仲間」との出会いです。いい仲間に出会うことができました。2つ目は「顧問の先生」との出会いです。たくさんご指導いただき、2年連続で県大会に出場することができました。3つ目は、「他校のよきライバル」との出会いです。ライバルの存在が、自分の技術面やメンタル面を強くしてくれました。

小学校の時の私は、まったく積極性がありませんでした。しかし、中学校に入って、部長をやったり、体育祭の応援団の副団長をやったりして、積極性が出てきました。すると学校が楽しくなりました。ただ、これは、何かのリーダーをしなければ、積極性が出ないということではありません。日々の日常の中に、積極性を出す場面はたくさんあるのです。

私が中学校で得たものは「考え方」です。中学校では、友だちと過ごす中で、楽しいことも、時には辛いこともありました。しかし、考え方が暗くなりそうな私に、そういう考え方もあるのか!と気づかせてくれたのは友だちです。自分だけで考えていては気づけないような「考え方」をたくさん教えてくれました。生徒会活動に一生懸命取り組んだことや日々の授業に精一杯取り組んで勉強をがんばったことも私の考え方を変えてくれました。

1年生は1年、2年生は2年、3年生は3年間の中学校生活が終わろうとしています。自分の人生のコーディネーターは自分自身、これまでの中学校生活で得たものを言語化して振り返り、なりたい自分をイメージして、この先も進んでほしいと願っています。

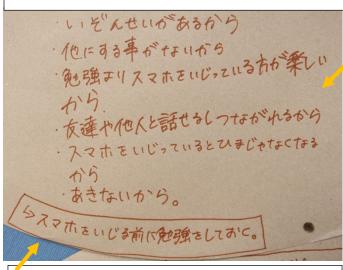


7.4-70.0 7-7/04 ETBROWNEY TRANSLERGY, 1 -ADER CORRECTS

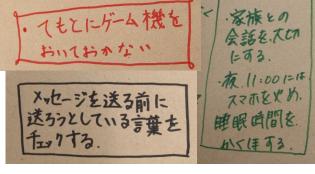


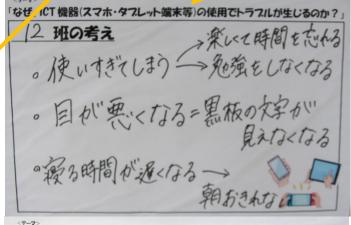


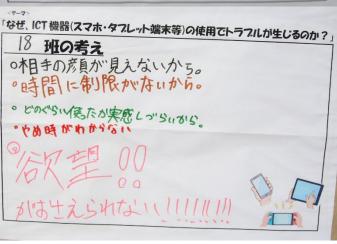
① 自分のダメだった使い方をあげて、なぜそうなるのか理由を考え、班でいくつかにまとめました

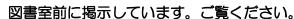


② 一人一人が「マイルール」を決めました。











るの寝る前もスマル

。電話3時間以上

り人かけずでまして

方やんと話し合うことが

·利用時間附以 (1)

の音楽かと聴いている

CT機器创建了相手的嫌か多いと をせず、メッセーシーを送るときは相手の 事是考えて送る

対期間だけではなく日常でメディコントロール をするか

優先順位を考えて せるべきことかく終わってから

公マイルール・ 九一下人下的部门 自分の中でなせえておど

ルールタイマーをかける

変か空気トーなったら、 すぐ謝まる、

人の気持ちを 考れてから発言する

うかで送る前に レーかりとかくにんを してから送る。

私は相手のことをかんかつ 大人などをかいしたかけられていたかけるよう

時間を決めて アラームをセットする.

勉強してかか使か

ましはこれから ICTを使う時 た相手がまこれを見てどう思めらのかを 考えてオラダセージを 送りたいと考えましたの

のわろ30分前には 使りのもやめる.

。使用する時間を決め 勉強するときは近くに 置かない

ロメナイプをする時間と、 勉強する時間に めりはりをつけるの

これからは、夜おそくまで、使わないようしこ 時間をしっかりかくに人しようと思いました。 使い方に気をつけトラブルが起きないよう にしたいです。

(51'E 18

京語院にと 0科学的な主張と 根状れを信じるようにする のやりすぎない 。顔が見えなくても相手を草重し 傷つけないメッセーこがなどのヤリとりも しいかける。

自身分の書いたことには 青任を持つ

谷安望をおさえる! 時間に気をつける

送りたい言葉を 考えてから送るように したいです

2/11-12

学校でザーんなどをしない。

テスト期間は時間を守って 使うようれする

スマホ見すきない



保護者の皆様へ

新発田市の部活動の 地域移行について

- 土日は学習を頑張りたい
- 仲間と楽しく活動したい
- 技術力向上を目指したい
- 学校の部活動とは異なる運動 をしたい





生徒の様々な二 - ズに応えていきます

令和8年度から の実施を目標に

休日の学校部活動を 「地域クラブ活動」

令和5年度から令和7年度末に かけ、移行に向けた体制を、 段階的に整備していきます。

保護者の皆様に 学校評価アンケート で、部活動について ご意見いただくこと があります。

学習指導要領が 変わり、2008 年以 降、部活動は教育 課程外として位置付 けられています。

また、全国中学校 存続等についても、

いたします。

体育連盟は、これま で目標に掲げていた 「競技力の向上」を やめました。今後 は、北信越大会、全 国大会等も縮小や 議論されていくと思 います。

市教育委員会の 指導の下、当校で も、活動時間等につ いて、見直していき ます。

どうぞご理解いた だきますようお願い

休日

学校での部活動

(学校部活動に参加せず地域でのクラブ活動を選択することも可能)

令和6年度

令和5年度

「休日の地域クラブ活動」

の開設に向け検討

※地域の各様な団体に、脚

ただきます。

殿に向けた検討をしてい

「休日の地域クラブ活動」 の開設への検討と準備

###BOK

歩準備が整い開設できる団 体から、「休日の地域ク ラブ活動」を実施してい ただきます。

開設できるクラブで、月1 回から4回、試行的に実施

令和7年度

₩tuok

※令和8年度から全中学校 で「休日の地域クラブ活 動」への移行完了を目標 に進めていきます。

移行期間中は、「学校部活動」を併存させながらの実施となります。

<移行期の生徒の形態>

学校部活動に加入せず、平日も休日も地域のクラブ活動に加入する生徒 平日は学校部活動、休日は「休日の地域クラブ活動」に加入する生徒 平日も休日も学校部活動で活動する生徒

令和5年3月 新発田市教育委員会

- 0 「休日の地域クラブ活動」に参加する際は、お金がかかるのでしょうか。
- 「休日の地域クラブ活動」に参加する際は、受益者負担(保護者負担)とするた め、費用がかかります。活動の運営にかかる経費や保険料等は基本的に受益者負 担となります。開設されたクラブや教室により、かかる費用は様々です。
- 小学生ですが、現在活動しているクラブは、中学生になっても活動できますか。
- スポーツ少年団等で、今後、中学生も入ることができる「休日の地域クラブ活動」 が開設されていくことを想定しています。今後、様々な団体に働きかけクラブ活動 の開設を検討していただきますので、もし開設されれば、中学生になっても同じク ラブで活動する可能性もあります。
- 中学校の部活動に所属していますが、休日の地域移行後は、「休日の地域クラブ活 動」に入らなくてもいいのでしょうか。逆に、平日の学校部活動に入らず、「休日 の地域クラブ活動」のみ参加することもできるのでしょうか。
- どちらも可能です。また、「休日の地域クラブ活動」だけでなく、平日もクラブが 開設していれば、平日もクラブ活動をすることも可能です。上手に時間を管理する ことにより、曖昧や学習の時間を踏やすことも可能になります。
- 部活動の地域移行は、休日だけ行われるのでしょうか。
- 現段階で国は、「休日の地域移行」を令和5年度からいつまでに達成するという達成 日毎時期を設定せず、地域の実際に応じて移行を進めるようにと言っています。新 発田市は8年度からは全中学校で休日の部活動を「地域のクラブ活動」に移すこと を目標とし、その後に「平日の地域移行」を進めていくことになります。

クラブとは、スポーツ少年 団、スポーツクラブ、スポ 一ツ教室等をいいます。